

年輪の数えかた

藤森 重紀

大鷹は風の高さを測り
飛翔するという

その風の方角を

さわやかに眺めていた人は

誰？

先まわりして

たしかめたくなくなるけれど

端正な両肩が

颯爽 という言葉と入れかわり

すつきり伸びた背筋とともに

何かを語る

この町に生き 自分を信じ

あきらめの読点はけっして打たない

老いに向かうのが人生ではなく

サミュエル・ウルマン*の詩のように

年輪から爆ぜるのは かわらぬ夢

青春が 慌てて追い駆けてくる！

サミュエル・ウルマン (1840~1924)

アメリカの詩人。70代で書いた“*Youth*” (青春の詩)の冒頭「青春とは人生のある期間を指すのではなく、心の持ち方を指すものである」が有名。加齢によって人は老いるのではなく、情熱や信念や希望の有無こそが、精神の若さを指示するという。情性に流されがちな日常に新鮮な活力を吹き込む絶好の詩。マッカーサーも座右の銘としていた

小山田緑地 撮影 松田康司